

〔 平成 22 年 9 月盛岡市議会定例会 〕
提 出 発 議 案

平成 22 年 9 月 29 日提出

発議案第 8 号 私学助成の充実を求める意見書について

(内閣総理大臣, 内閣官房長官, 財務大臣, 文部科学大臣, 衆議院議長,
参議院議長, 岩手県知事)

発議案第 9 号 過剰米対策に関する意見書について

(内閣総理大臣, 内閣官房長官, 農林水産大臣, 衆議院議長, 参議院議長)

※ () 内は可決された場合の送付行政庁等

発議案第8号

私学助成の充実を求める意見書について

標記について、会議規則第13条の規定により別紙のとおり提出いたします。

平成22年9月29日

提出者	盛岡市議会議員	細川光正
賛成者	盛岡市議会議員	遠藤政幸
〃	〃	高橋司
〃	〃	大畑正二
〃	〃	千葉長進
〃	〃	神部伸也
〃	〃	佐藤妙子
〃	〃	千葉健一
〃	〃	佐々木弥一
〃	〃	鈴木礼子
〃	〃	伊達康子
〃	〃	守谷祐志

盛岡市議会議長 佐藤栄一様

私学助成の充実を求める意見書

私立学校は、公教育の一翼を担い、学校教育の充実、発展に寄与しています。

しかしながら、現在、私立学校の経営基盤は厳しい環境におかれており、保護者の学費負担は家計を大きく圧迫しています。また、生徒一人当たりにかかる教育費は、公立学校と比べて依然として低く、私立学校の教育諸条件が改善されない大きな要因ともなっています。

こうした状況の中で、教育条件の維持・向上と保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、私立学校の経営の健全化に資するため、運営費をはじめとする公費助成の一層の充実が求められています。

よって、このような実情を勘案し、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金のさらなる充実を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成22年9月29日

盛岡市議会

発議案第9号

過剰米対策に関する意見書について

標記について、会議規則第13条の規定により別紙のとおり提出いたします。

平成22年9月29日

提出者	盛岡市議会議員	竹田浩久
賛成者	盛岡市議会議員	佐々木信一
〃	〃	守谷祐志
〃	〃	吉田孝人
〃	〃	伊勢志穂
〃	〃	藤村秀利
〃	〃	村田芳三
〃	〃	中村一
〃	〃	吉田久孝
〃	〃	高橋和夫
〃	〃	伊達康子

盛岡市議会議長 佐藤栄一様

過剰米対策に関する意見書

平成 21 年産米は、国の需給見通しの誤りや過剰作付けにより、本年 10 月には全国で 40 万トン、本県においても 3 万 3 千トンもの持ち越し在庫の発生が懸念される事態となっています。

収穫の時期を迎える中であって、このままでは平成 21 年産米の古米処理経費の発生や平成 22 年産米の価格下落、そして平成 23 年産米の米生産数量目標の大幅な削減は必至と予想されます。また、戸別所得補償モデル対策交付金の補てんを受けても稲作農家の経営は極めて厳しい状況になることが心配されます。

よって、国におかれましては、稲作農家が安心して米作りに取り組める環境を確立するため、過剰米対策として、緊急に政府備蓄米の買い入れを実施するとともに、平成 22 年産米以降の需給調整対策を恒久的な制度として確立、実施することを求めます。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき意見書を提出します。

平成 22 年 9 月 29 日

盛岡市議会